

「体験活動ノート」について

- 本ノートは、体験活動に参加をした児童向けの物です。
- ふだんの活動で、スカウトたちは「個人の進歩」をビーバーノートやカブブックを使って、楽しく進めています。このような仕組みも、スカウト活動を楽しむものです。
- 参加児童にもこのような仕組みで楽しく参加をしてもらいましょう。ノートの内容は、当日の体験活動をふりかえったり、わかちあったりできるようにしてあります。
- 活動中に「書く」ことは難しいと思いますので、活用方法は参加者や当日の内容などにあわせて活用してください。
- 参加児童のお世話係の「スカウト」（ボーイやベンチャー）がいる場合は、お兄さん、お姉さんスカウトと参加児童とのコミュニケーションツールとして活用してみてください。
- このノートは、後ろのページから「ご家庭のみなさん」として、簡単な体験活の必要性、ボーイスカウト活動へのお誘いを掲載しています。
- 各団や地区などでは、ぜひ、また見学や体験活動にご参加されるようお誘いください。
- ビーバーの木の葉シールやお手元にあるシール、スタンプなどがあれば、ご活用ください。

使い方例

たいけんメモ1「きょう たいけんで やって見た こと」

「4マスを活用したあそび」

- 当日のプログラムに4つの番号をつけて、できた順にサインしたり、シールを貼る。やったことに簡単なメモ「火おこし」「ロープむすび」などメモを入れて、サインやシールを貼る。
- 集会の導入ゲームやクイズ（アイスブレイク）を1～4つやってみて、出来たら、サインやシールを貼る。
 - 「時間ぴったり」（1分間計測）「長さぴったり」（体測）「重さぴったり」（重さ当て）「形ぴったり」（葉っぱなどの自然物2つの形合わせ、色合わせ）・・・など。
- 宝探しゲーム（4つのアイテム探し）など

たいけんメモ2「あなたが きょう あったひと」

「4人のヒト型を活用したあそび」

- 4人のスカウト、リーダーからサインをもらって完成。
- お題にそった人探し「一番背の高い人」「誕生日が自分と一番近い人」「なまえがいっしょの人」「〇〇が好きな人」などの該当する人を探して、サインをもらう。
- 隠れたリーダー探し。「内緒の合言葉」や「目印」で4人の人を探がす。

たいけんメモ3「きょうたのしかったこと こんどやってみたいこと」

- 楽しかったことを話してみましよう。楽しさにあった、★に✓やシールを貼ってあげてください。
- やってみたいことも 聞いてみてください。
- 人数の様子はありますが、他の皆に聞こえるように聞いてあげる。または付添のご家庭の方の前でお話を聞いてみることもよいでしょう。

その他

- メモ以降のノート部分（罫線頁）では、自然観察など葉っぱ集めをして、ノートに貼ったり、簡単な切り込みを入れて挟んでみるなどもできます。
- 使い方は自由です。ぜひ、工夫をして使ってみてください。